



リーダー都市・福岡の課題

猛暑続きの今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？
また、市政・市議活動への協力を厚くお礼申し上げます。
さて、全国的に人口減少が続くなか、福岡市の人口は増え続け、今年すでに150万人を超え、10年以内に160万人を突破、国内で人口5番目の都市になりそうです。これは福岡市が国内外から住みやすい都市として高い評価を受けているのを裏付けるものとして誇らしく思っています。

ただ、人口が増えることを喜んでばかりはいられません。確かに子どもの数が増えることでの人口増はありますが、その3倍以上が他の地域からの転入によるものです。九州圏からの転入が年々増え福岡市一極集中化が進んでいます。このことで地方の市や町が消滅の危機にさらされているとのこと。これは地方だけではなく福岡市内でも都心部だけに人口が集中し、郊外は若者の転出が進み小学校の廃校も囁かれるほどです。

この状況が進むと、郊外でも他の市町村でも産業発展に影響を来し、福岡市の住みやすい理由の第一に挙げられている「新鮮で美味しい食材が豊富」が無くなることにも繋がります。福岡市の10年後50年後を考えると、本市の発展だけではなく特に九州圏の他の自治体との共存共栄の道を探っていくのも重要だと思っています。暑さ厳しき折から、皆様ご自愛のほど心よりお祈り申し上げます。

大原やすお

今見直される木造建築、木の効用

木造建築はコンクリート建築と比較して、火災に弱く耐震性が無いと思われており、我が国では高度成長期から、ほとんどの建築物(特に公共建築物)がコンクリート化されてきました。近年、木材も集成材の開発が進み鉄骨よりも高温に強く耐久性に富む建材として商品化されました。ヨーロッパでは集成材を用いた木造高層建築物があちこちに建ち並び始めているとのこと。

我が国は国土の70%(福岡市33%)を森林が占める森林資源国です。このところ森林や木の心身に与える良い影響が再認識され、森林に親しむイベントや木材を利用する試みが全国で行われるようになりました。福岡市に於いてもこれからもっと森林・木材を資源として再認識し有効活用されることを望みます。



全国で初めて木造で建築された熊本県上天草市の3階建て庁舎 ほぼ全量を地元天草で賄った



板を重ねた集成材を用いて英ロンドンに建設された9階建て集合住宅

木材の効用・効果

- 木のぬくもりに優しさが感じられ精神的に落ち着き、人への思いやりや物を大切にす気持を育てると言われています。
- 木の心地よい香りにより「リフレッシュ効果」「鎮静効果」の他「抗菌作用」「消臭作用」を持つと言われています。
- 湿気を吸ったり吐いたりする「調湿作用」が湿度の変化に柔軟に対応します。
- 金属に比べ「熱伝導率」が低いため、冬は暖かく感じられます。(林野庁 木材利用のポイントより)



5/12 (後援会女性部) 懇親会に140人
あいにくの雨もなんのその、会場には女性パワーがぎゅぎゅう!! 舞踊、健康指導、議員からのサプライズ、そしてじゃんけん大会と、あつという間に楽しい時間は過ぎてしまいました。



寿々の会 バスハイク 今年2回に分けて
毎年好評の寿々の会バスハイク。今年2回に分けて行います。9月初旬と10月下旬の予定で準備を進めています。詳細は事務所にお尋ねください。たくさんのご参加をお待ちしています。

もっと身近に、皆様のお近くに!!

地域の集まりは皆様と直にお話できる大事な時間。お声掛けいただくことを議員活動の糧にしながら力を尽くしてまいります。

公民館内に地域の高齢者が集う場としてカフェがオープン。お祝いの挨拶をする大原議員。

日本でも最古のお茶の伝承地、脇山の茶畑で園児たちと一緒に茶摘み。

5月の風をうけてきれいになった油山川を泳ぐこいのぼり。

園児のみなさんに声をかける大原議員。

早良区では50カ所以上の校区や地域で、また神社で夏祭りが開催されます。時間の限り参加させて頂いております。時には盆踊りの輪の中に。

地域の方々と一緒に取り組んでいます。
大原やすお 絆ネットワーク
後援会活動報告

大倫の会 第2回 3/31 第3回 7/9
身近な市政について語り合う場として企業関係者を中心に発足した大倫の会。「球春開幕!今年のホークスの展望」と題して西アポテスクの分かりやすい解説を聴いたり、「子どもの可能性は無限大」とコペル社長から教育を学んだりと様々な分野に目を向け意義深い時間を過ごしています。もちろんその後は親しく懇親の場に。3か月に一度位集まっています。(会員募集中↓事務所まで)

後援会拡大 代表者会 4/26
今後の後援会活動について話し合った。拡大代表者会が開かれました。市政報告の後、質疑応答。議員から2期目へ向けての決意表明があり、後援会からガンバロウコールがありました。

自民党第6支部 随時入党受付中!
大原やすお後援会事務所に併設している自民党早良区第6支部。自民党に入党して黨員として自民党を、大原議員を支えてください。
黨員1人 年額4,000円、家族党员は2,000円です。

福岡市議会議員 大原やすお事務所
福岡市早良区次郎丸4丁目9-37 (サンラーウ次郎丸)
TEL 092(863)9567 FAX092(863)9568
mail info@oohara-yasuo.jp

大原やすお事務所

※絆通信印刷費用の一部は政務活動費から出させて頂いております。

大原やすおの 議会報告

平成26年
6月25日
一般質問



6月に開かれた市議会で大原議員は

- 学習塾と学校教育について
- 大相撲九州場所について
- 森林資源活用サイクルの確立について

質問をしました。議員に与えられた時間いっぱい(答弁を含め約1時間)質疑応答がなされました。詳しく聞いてみましょう。(詳細は福岡市ホームページをご覧ください。録画映像も見ることができます)

みんな行ってる学習塾!? けどこれでいいの?

Q

多くの子どもたちが通っている学習塾は学力向上にそれなりの効果があるようですが、その反面子どもたちの心身へのストレスや家計の負担が増すなどの影響がでています。学校では学習向上に向けてどのような対策を行っているのでしょうか。

A

学校が課題を明確にし、解決の方法を設定した「学力向上推進プラン」を作成し、思考力、判断力、表現力を育みながら、放課後の補習授業や主体的に学習に取り組む態度を身に付けさせるなどして学力向上に努めます。



大相撲九州場所はなくなるの?

Q

大相撲九州場所は福岡の師走前の風物詩としてしっかりと定着していますが、近年相撲人気は陰りを見せ、観客席も空席が目立つようになりました。このままでは九州場所の開催が無くなるのではないかと危ぶまれています。相撲は伝統文化の継承、青少年の健全育成、観光客誘致など本市にとっても重要な資源と考えられますが、本市の大相撲のファン拡大についての取り組みについてお尋ねします。

A

大相撲九州場所は本市にとってなくてはならないMICEであると共に観光資源でもあります。大相撲人気の向上のために子どもたちが相撲に接する機会を増やしたり、本庁舎でのCM放送、地下鉄構内でのポスター掲示、のぼり旗の設置など相撲協会と連携をとりながらファン層拡大を図っています。(MICE=Meeting、Incentive Travel、Convention、Exhibition/Eventの頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称)



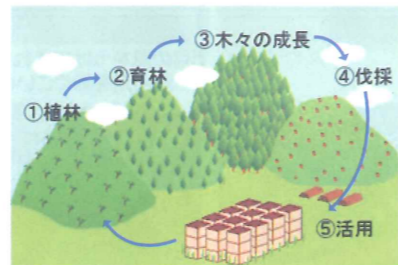
森林も少子高齢化!?

Q

林野庁の本郷森林整備部長は「人間で言えば少子高齢化状態になっている日本の森林。放置すると土砂崩れが起き、保水力や二酸化炭素吸収力が低下し、私たちの生活に悪影響をもたらす」と危惧されています。福岡市内の森林も同じように手が入れられないまま荒廃が進んでいるようですが、本市の森林整備計画はどのようになっているのでしょうか。

A

地域産木材の公共施設への利用促進やバイオマス活用など森林資源の新たな活用方策を検討し需要拡大を図っているところです。木を伐る→植える→育てる→伐るといった活用サイクルの循環を行うことで、森林の多面的機能が維持されます。その向上実現のために平成27年度の福岡市森林整備計画を策定しているところです。



新こども病院 今年11月開院



これからの日本を担う子どもたち。心身ともに健やかに育成されることを目的とし、主として小児専門の高度医療を提供する病院として、「いのちを喜び、心でふれあい、すべての人を慈しむ病院を目指す。」という基本理念の下、今年11月開院に向けて準備が進んでいます。

南東側から見た病院のイメージ

建物はほぼ完成!そこで...新こども病院 今までとどこが違うの?!

周産期医療の充実、産科新設

これまで生まれてから救急搬送されていましたが、健診の段階で出生後ただちに治療が必要な場合に備え産科が新設されました。新設は他にも脳神経外科、皮膚科、小児歯科。最新の医療機器を備えます。

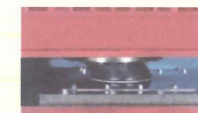
ヘリポート完備

緊急搬送の為屋上にはヘリポートが備えられています。

信頼の安心構造

床下に設けられた免震構造は大震災時においても医療行為が可能です。医師は安心して医療を施すことができ、患者は安心して医療が受けられます。

床下で建物を支える免震構造



弾性すべり支承実験状況 (建設企業 開発)



天然ゴム系積層ゴム設置状況



オイルダンパー設置状況

「主婦」を考える

「主婦」を辞書で調べると「家族が気持ちよく元気に仕事(勉強)が出来るように生活環境を整え、食事などの世話を中心になってする婦人」とありますが、これを職業として認めるかは色々な考えがあるようです。昨今の女性の社会進出と職場での地位向上への取り組みについては理解しますが、一方で主婦を職業とみなさない風潮が強まっていくのではないかと懸念しています。

家族に活気があって絆が強いことは社会の繁栄と安定に繋がっていくはず。その中心的存在が主婦であることに疑う余地はありません。特に子育てには、子どもにとって良い環境作りが必要ですが、それは家庭環境だけでなく地域の環境も大切です。子どもの環境づくりの組織にはPTAや子ども会育成会等がありますが、

その運営においても中心的存在はやはり主婦の方々です。組織活動は余暇だけで運営していけないものではなく、時に昼夜休みなしの活動を余儀なくされることもあります。また、色々な団体と関わっていくことで地域の環境も守られているのです。地域のより良い子育て環境は子どもだけでなく、大人にとっての住みやすい環境でもあるのです。

主婦を職業として認め働きやすい環境を整え、家庭や地域で活動していただくことも女性の社会進出であり地位向上につながるのではないのでしょうか。

